

REX-PCI60

RS232C Serial Communication Board

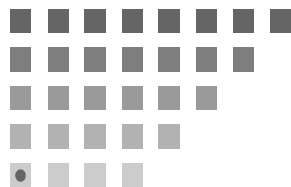
ユーザーズマニュアル

2009年2月

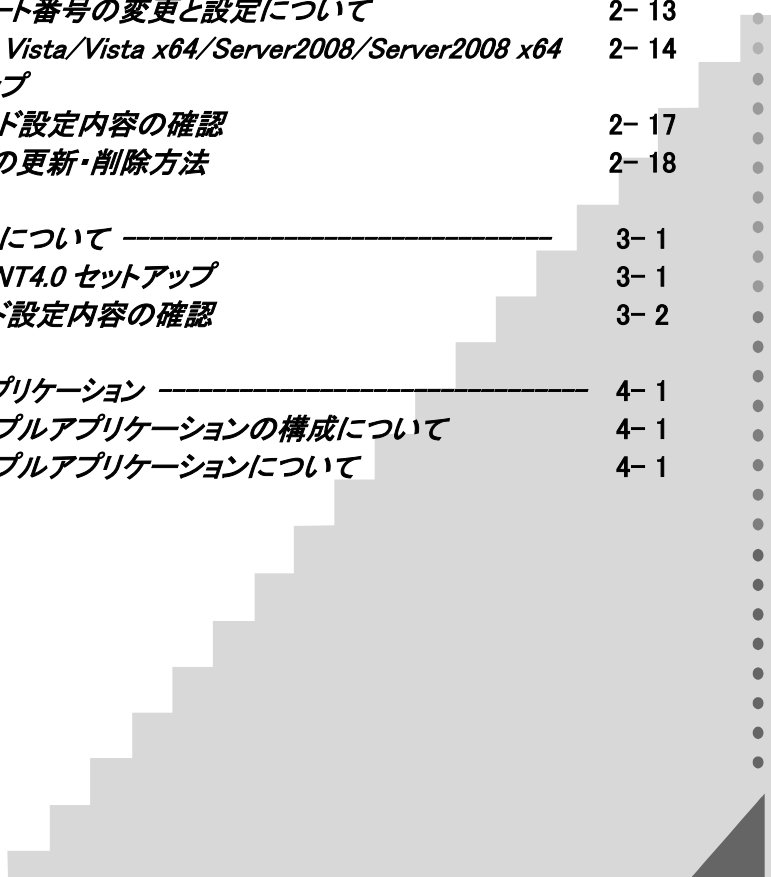
第4.0版



ラトックシステム株式会社



第1章 はじめに -----	1- 1
(1-1) 製品仕様	1- 1
(1-2) 添付品	1- 2
(1-3) プラケットの取替え	1- 2
(1-4) コネクタピンアサイン	1- 3
第2章 Windows セットアップ -----	2- 1
(2-1) Windows98SE セットアップ	2- 1
(2-2) WindowsMe セットアップ	2- 3
(2-3) PCI ボード設定内容の確認(Windows Me/98SE)	2- 4
(2-4) Windows 2000/2000Server セットアップ	2- 6
(2-5) Windows XP/Server2003/XP x64/Server2003 x64 セットアップ	2- 9
(2-6) PCI ボード設定内容の確認	2- 12
(2-7) COM ポート番号の変更と設定について	2- 13
(2-8) Windows Vista/Vista x64/Server2008/Server2008 x64 セットアップ	2- 14
(2-9) PCI ボード設定内容の確認	2- 17
(2-10) ドライバの更新・削除方法	2- 18
第3章 Windows NT4.0 について -----	3- 1
(3-1) Windows NT4.0 セットアップ	3- 1
(3-2) PCI ボード設定内容の確認	3- 2
第4章 通信サンプルアプリケーション -----	4- 1
(4-1) 通信サンプルアプリケーションの構成について	4- 1
(4-2) 通信サンプルアプリケーションについて	4- 1



第1章 はじめに

(1-1) 製品仕様

REX-PCI60 は、シリアルコントローラに 16550 互換 UART を搭載し、D-Sub9 ピン(オス)コネクタを 2 ポート採用した RS232C PCI ボードです。

ハードウェア仕様

項目	仕様内容
バスインターフェース	PCI Local Bus Rev2.3 (32 ビットバスマスタ ユニバーサル PCI)
シリアルコントローラ	メモリマップ方式 16550 互換 UART
接続コネクタ	D-Sub9Pin(オス) × 4
入出力レベル	【ドライバ】 ハイレベル出力 : +5V(min)/+5.4V(TYP) ローレベル出力 : -5V(min)/-5.4V(TYP)
	【レシーバ】 電圧レンジ : -15V~+15V
通信方式	非同期通信
通信速度	300/600/1200/2400/4800/9600/19200/38400/ 57600/115200/230400 bps ※実際に実行可能な最大通信速度はパソコンの仕様に依存します。
通信パラメータ	ビット長 : 7/8 スタートビット : 1 ストップビット : 1/2 パリティ : 偶数/奇数/なし
ドライバ・レシーバ	MAX3243 または相当品
伝送距離	15m 以内
割り込み番号	PCI 割り込みを自動割り当て
外形寸法	120mm(W) × 54(H) [mm] (PCI ブラケット含まず)
重量	65g (標準 PCI ブラケットを含む)
電源電圧	+3.3V または 5V (PCI バスより供給)
動作環境	温度 : 0~55℃ 湿度 : 20~80% (ただし結露しないこと)

D-Sub コネクタの 9 番ピンから電源 (5V) を出力できる製品の受注生産が可能です。詳しくは、サポートセンターまでお問い合わせください。

ソフトウェア仕様

項目	仕様内容
通信サンプルプログラム	RS-232C 通信サンプルプログラム (VC++2005, VB2005, VC++6.0, VB6.0)
シリアル通信ドライバ	REX-PCI60 用デバイスドライバ

本製品の制限事項

本製品の IO アドレスは、OADG ハードウェア仕様で定められた IO ベースアドレスとは別のメモリアドレスにマップされますので、直接 IO ポートアドレスにアクセスしているアプリケーションはご使用になれません。

(1-2) 添付品

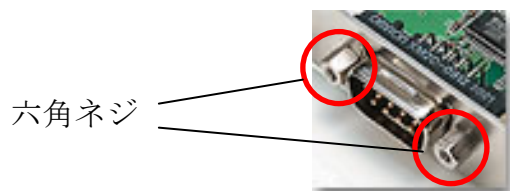
ご使用前に下記添付品が添付されているかをご確認願います。

- RS-232C PCI ボード本体(標準 PCI ブラケット付)
- Low profile PCI ブラケット
- ソフトウェア CD-ROM
- インストールガイド
- 保証書

(1-3) PCI ブラケットの取替え

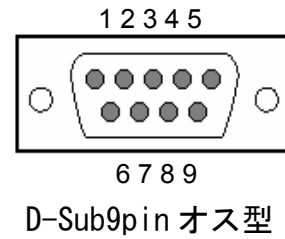
ロープロファイル PCI スロットでご使用の場合は、ブラケットの取替えが必要となります。

PCI ボード上の六角ネジを取外してブラケットを取替えます。



(1-4) コネクタピンアサイン

各信号のコネクタピンアサイン及び機能は下表のようになります。コネクタは OADG 仕様で定められている D-Sub9pin を採用しました。



ピン番	信号名	略称	DTE-外部	説明
1	Data Carrier Detect (DCD)	キャリア検出	←	キャリア検出の通知
2	Receive Data (RD)	受信データ	←	データの受信
3	Transmit Data (TD)	送信データ	⇒	データの送信
4	Data Terminal Ready (DTR)	受信準備	⇒	使用可能であることを通知
5	Signal Ground (SG)	信号用接地	-	グラウンド
6	Data Set Ready (DSR)	送信準備	←	使用可能であることを通知
7	Request to Send (RS)	送信要求	⇒	送信の停止・再開の要求
8	Clear to Send (CS)	送信許可	←	受信の停止・再開の通知
9	Ring Indicate (RI)	被呼表示	←	着信の通知

Ⓐ D-SUB25PIN への変換について Ⓐ

製品添付ケーブルは D-SUB9PIN コネクタですので D-SUB25PIN に変換したい場合には、下記の変換表に基づいた変換コネクタをご使用ください。
変換コネクタは、一般の量販店やパソコンショップで入手可能です。

D-SUB9PIN		D-SUB25PIN	
ピン番号		ピン番号	
1	←→	8	
2	←→	3	
3	←→	2	
4	←→	20	
5	←→	7	
6	←→	6	
7	←→	4	
8	←→	5	
9	←→	22	

第2章 Windowsセットアップ

(2-1) Windows98SE セットアップ

Windows98SE でのインストール方法

PCI ボードを PCI スロットに挿入後、PC を起動すると右の「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。「次へ」を押します。



ドライバの検索方法は「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」を押します。



検索する場所に「検索場所の指定(L)」を選択後、添付の CD-ROM を挿入し、「参照(R)」ボタンをクリックしてください。表示されたダイアログで [CD-ROM¥Win9x] フォルダを指定後、「OK」ボタンを押してください。「次へ」を押します。



ドライバのある場所が表示されます。「次へ」を押します。



ドライバのコピーが開始され、完了のメッセージが表示されます。「完了」を押します。



以上で REX-PCI60 のインストールは終了です。

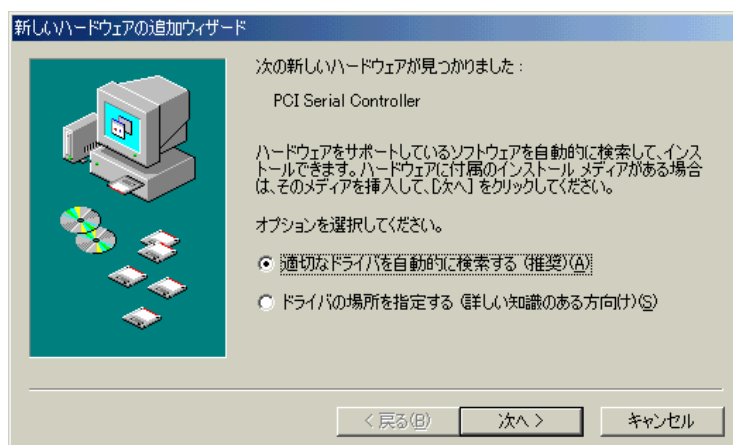
「(2-3) PCI ボード設定内容の確認 (Windows Me/98SE)」へ進み、インストールの確認作業を行ってください。

(2-2) WindowsMe セットアップ

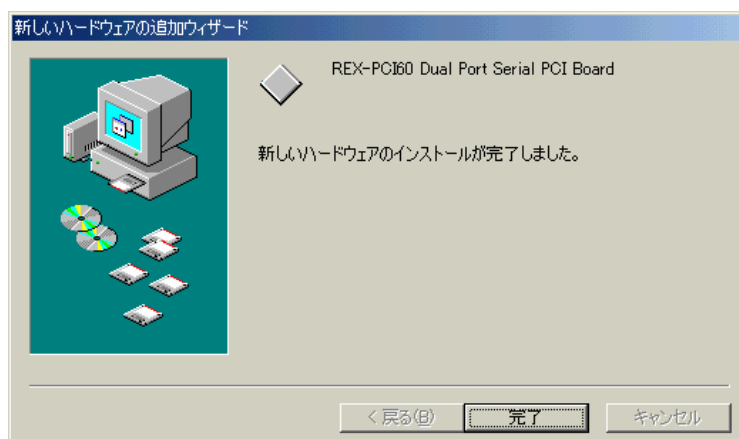
WindowsMe でのインストール方法

PCI ボードを PCI スロットに挿入後、PC を起動すると右の「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。

ここでは「適切なドライバを自動的に検索する(推奨)」にチェックを入れ「次へ」を押します。



ドライバのコピーが開始され、完了のメッセージが表示されます。「完了」を押します。



以上で REX-PCI60 のインストールは終了です。

「(2-3) PCI ボード設定内容の確認 (Windows Me/98SE)」へ進み、インストールの確認作業を行ってください。

(2-3) PCI ボード設定内容の確認(Windows Me/98SE)

コントロールパネルのシステムを起動し、デバイスマネージャを選択します。ボードの設定が正常に行われていれば、コンピュータのレジストリツリー「ポート(COMとLPT)」の下に「通信ポート(COMx)」が登録されます。プロパティのリソースタブを選択してI/OポートアドレスおよびIRQの割り当てで競合していないことを確認してください。デバイスの競合が発生した場合は「自動設定を使う」のチェックを外し、競合が起こらない値に設定を変更して下さい。

画面では、「COM1」「COM2」となっておりますが、お客様の環境によりCOMxのxの数字が異なりますのでご注意ください。



次ページ RS232C PCI ボードの動作確認へ進み、PCI ボードが正常に動作することをご確認ください。

RS232C PCI ボードの動作確認

RS232C PCI ボードに外付けモデムを接続し、Windows98SE/Me 添付のアクセサリ通信ソフト「ハイパーターミナル」により通信テストを行います。

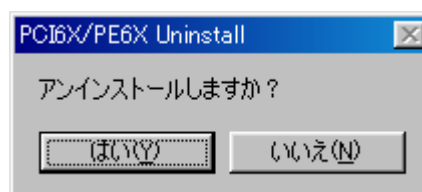
「ハイパーターミナル」を起動し、電話番号設定項目の接続方法を REX-PCI60 に割当てられた通信ポート「ComX(X=数字)へダイヤル」を指定します。



AT コマンドを入力しコマンドおよびリザルトコードがエコーバックされてくれば動作は正常です。

REX-PCI60 のアンインストール

[Windows 98SE/Me] の場合
(CD-ROM)¥Win9x¥Win9x
にある Uninstall.exe を実行します。



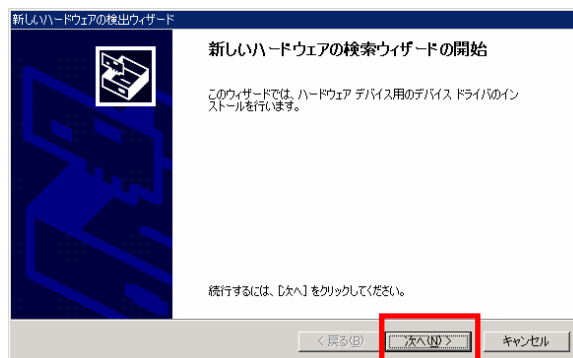
(2-4) Windows 2000 / 2000Server セットアップ

Windows 2000/2000Server でのインストール方法

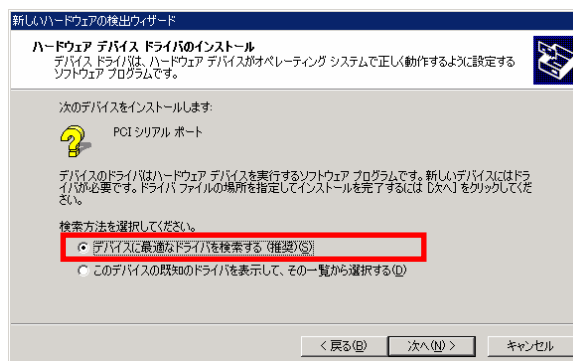
PC の電源を OFF にして PCI ボードを挿入します。PC の電源を ON にすると「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が起動しますので、以下の手順でインストールを行ってください。

<REX-PCI60 Dual Port Serial PCI Board のインストール>

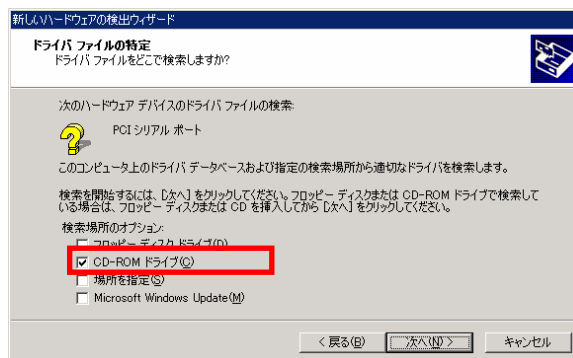
「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」で、添付 CD-ROM を挿入し、「次へ」ボタンを押します。



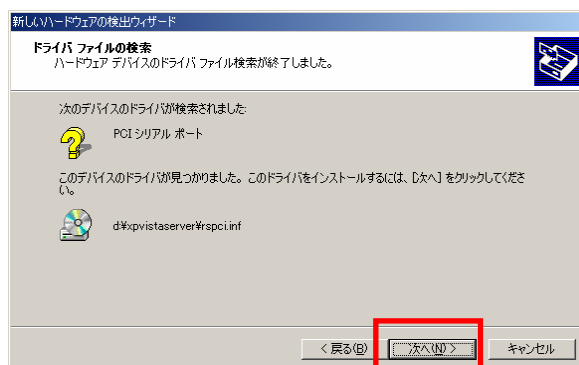
検索方法の選択画面で、「PCI シリアル ポート」と表示されていることを確認し、「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」にチェックを入れて「次へ」ボタンを押します。



検索場所の指定画面で、「CD-ROM ドライブ」を選択し「次へ」ボタンを押します。

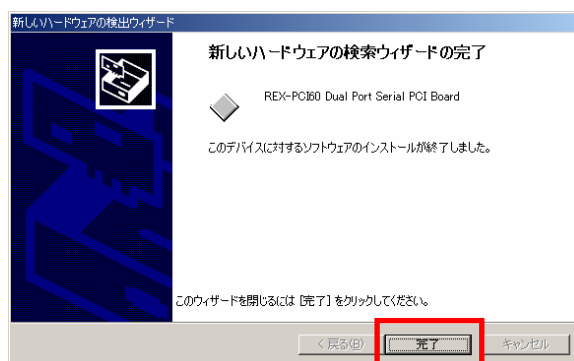


ドライバのある場所が表示されます。「次へ」ボタンを押します。



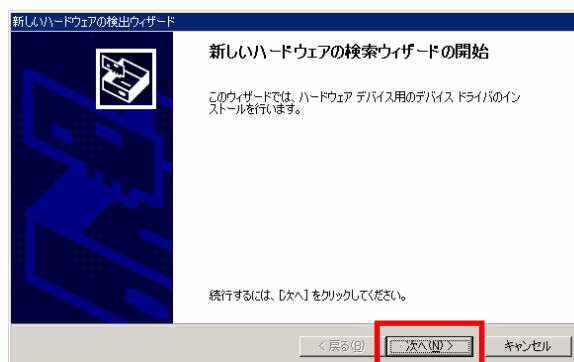
以上で REX-PCI60 Dual Port Serial PCI Board のインストールは完了です。

次に「REX-PCI60 Communications Port」のインストールウィザードが自動的に起動します。



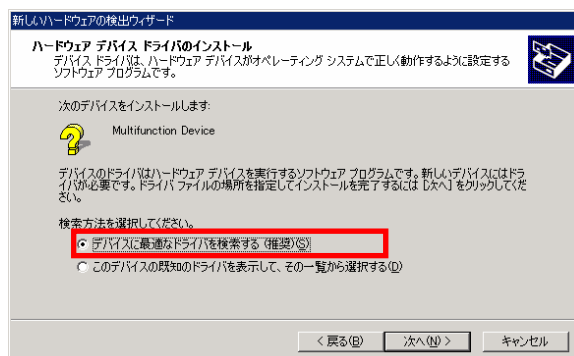
<REX-PCI60 Communications Port のインストール>

「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」で「次へ」ボタンを押します。

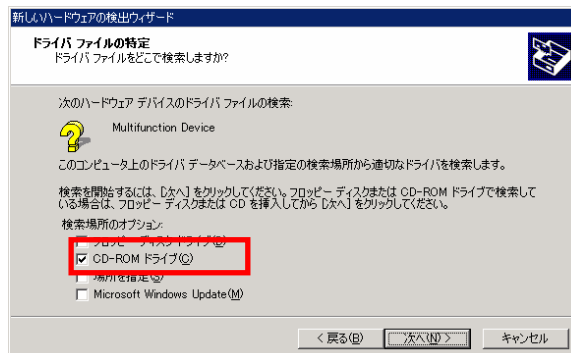


検索方法の選択画面で、

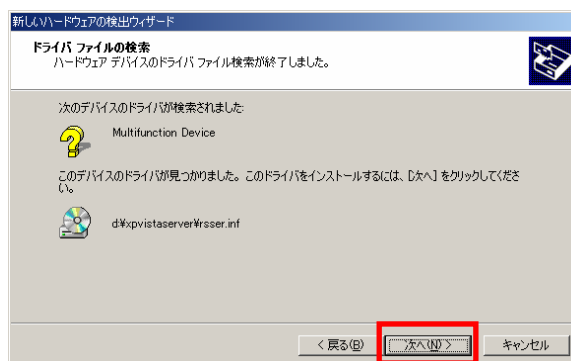
「Multifunction Device」と表示されていることを確認し、「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」にチェックを入れて「次へ」ボタンを押します。



検索場所の指定画面で、「CD-ROM
ドライブ」が選択されていることを
確認し「次へ」ボタンを押します。

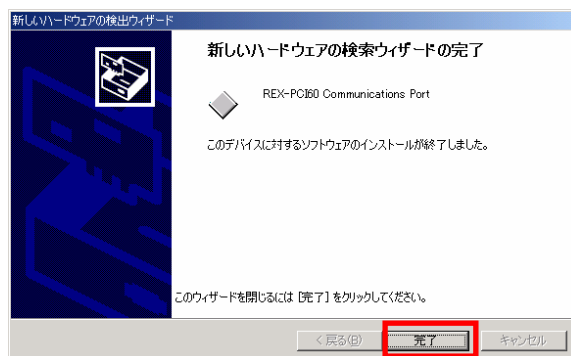


ドライバのある場所が表示されま
す。「次へ」ボタンを押します。



ドライバのコピーが開始され、完了
のメッセージが表示されます。
「完了」ボタンを押します。

2 ポート分についてのインストール
が自動的に行われます。



以上で REX-PCI60 のインストールは終了です。

「(2-6) PCI ボード設定内容の確認」へ進み、インストールの確認を行ってください。

(2-5) Windows XP / Server2003 / XP x64 / Server2003 x64

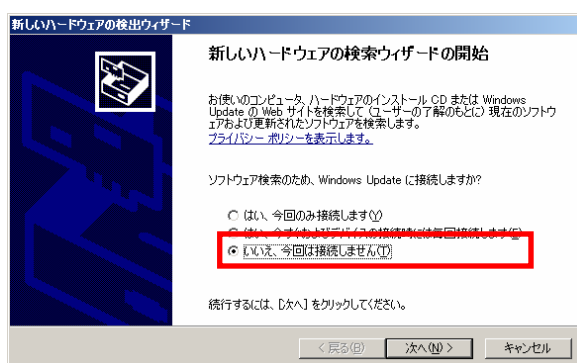
セットアップ

Windows XP / Server2003 / XP x64 / Server2003 x64 でのインストール方法

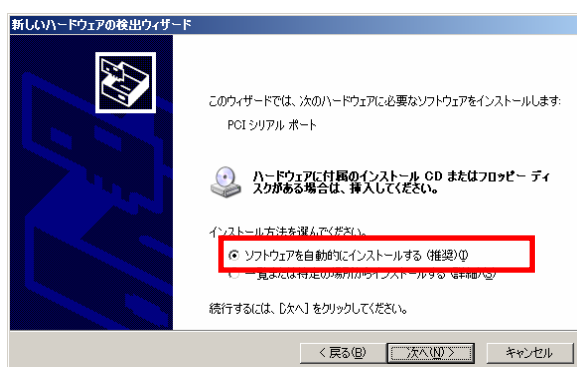
PC の電源を OFF にして PCI ボードを挿入します。PC の電源を ON にすると「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が起動しますので、以下の手順でインストールを行ってください。

< REX-PCI60 Dual Port Serial PCI Board のインストール >

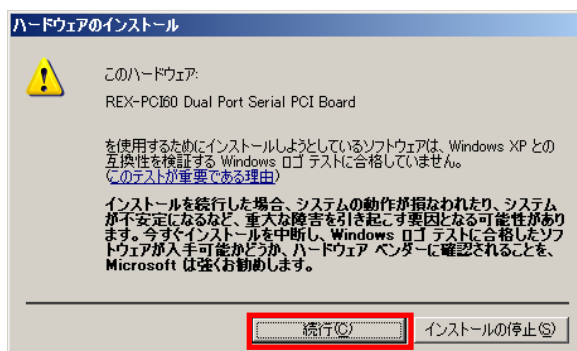
「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」で、「いいえ、今回は接続しません」を選択し「次へ」ボタンを押します。



「PCI シリアル ポート」と表示されていることを確認してください。添付 CD-ROM を挿入し、「ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)」が選択されていることを確認し「次へ」ボタンを押します。



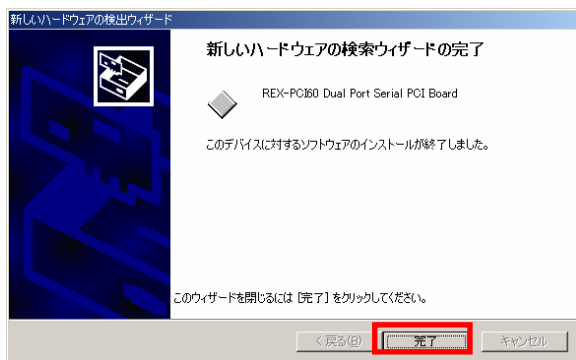
「ロゴテストに合格していません」と表示されますが、「続行」ボタンを押します。



※WindowsXP 以外ではダイアログ中の表記が異なります。

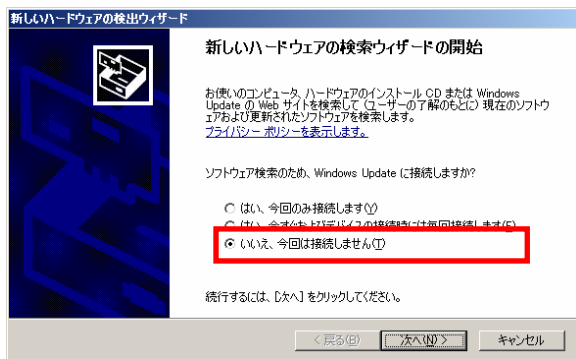
以上で REX-PCI60 Dual Port Serial PCI Board のインストールは完了です。

次に「REX-PCI60 Communications Port」のインストールウィザードが自動的に起動します。



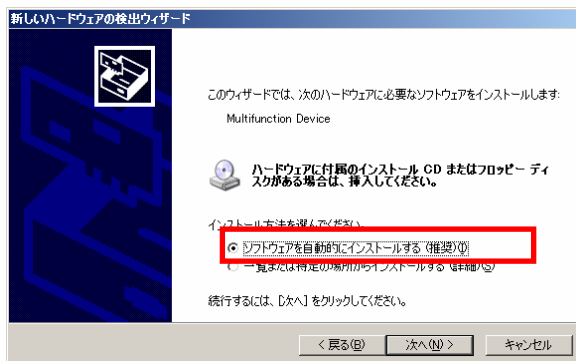
<REX-PCI60 Communications Port のインストール>

「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」で、「いいえ、今回は接続しません」を選択し「次へ」ボタンを押します。

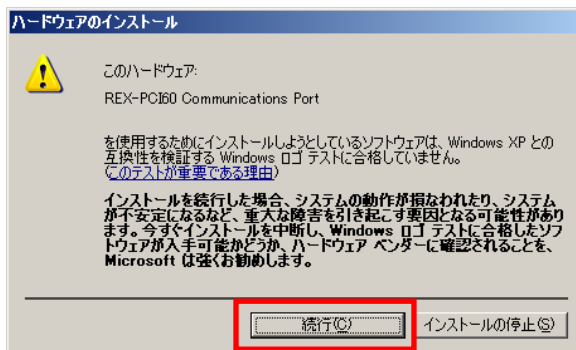


「Multifunction Device」と表示されていることを確認してください。

「ソフトウェアを自動的にインストールする」が選択されていることを確認し「次へ」ボタンを押します。



「ロゴテストに合格していません」と表示されますが、「続行」ボタンを押します。

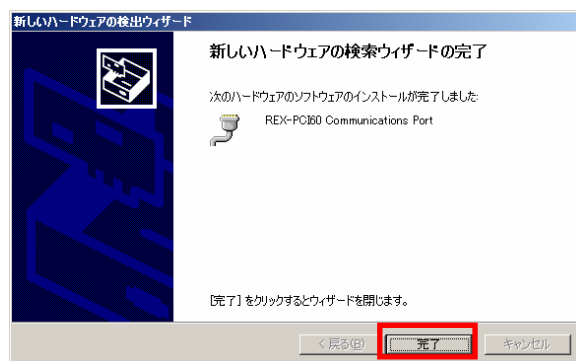


※WindowsXP 以外ではダイアログ中の表記が異なります。

ドライバのコピーが開始され、完了のメッセージが表示されます。

「完了」ボタンを押します。

2 ポート分についてのインストール作業が必要です。



以上で REX-PCI60 のインストールは終了です。

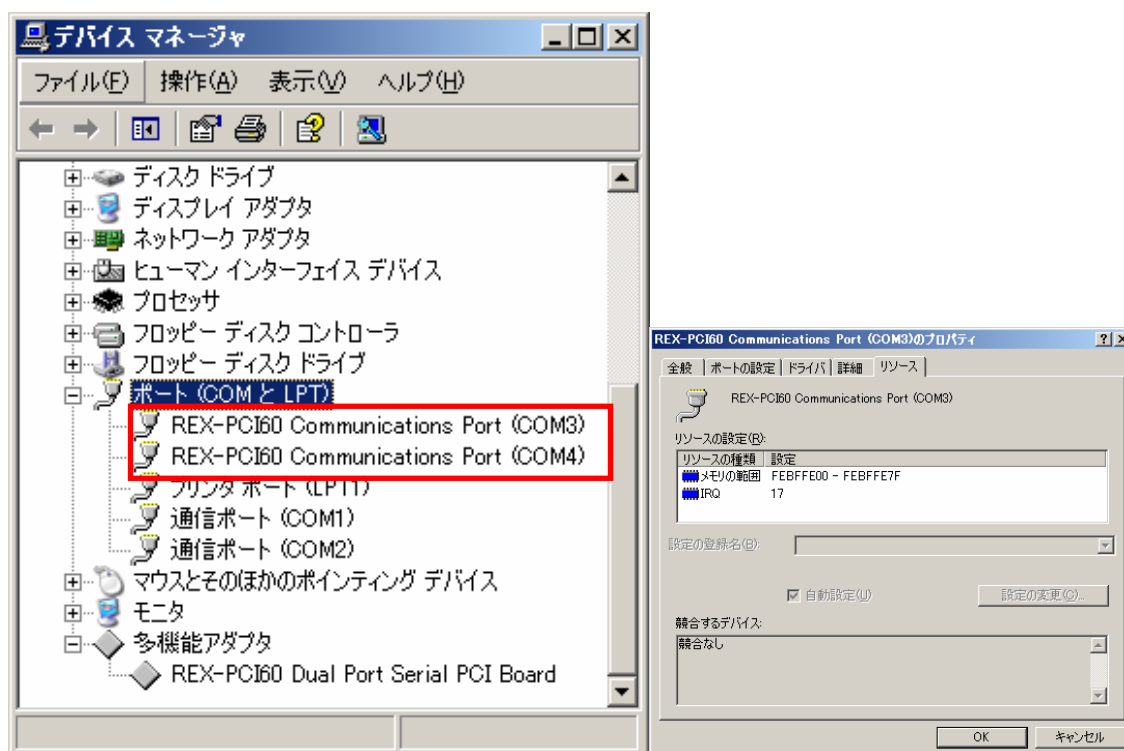
「(2-6) PCI ボード設定内容の確認」へ進み、インストールの確認を行ってください。

(2-6) PCI ボード設定内容の確認

コントロールパネルのシステムを起動します。「システムのプロパティ」の「ハードウェア」タブから「デバイスマネージャ」ボタンを押します。

「ポート(COMとLPT)」をクリックして新しくポートが追加されているのを確認してください。

また、通信ポートの「プロパティ」でリソースが正しく割り当てられているかを確認してください。デバイスの競合が発生した場合は、「自動設定」のチェックを外し、競合が起こらない値に設定を変更してください。



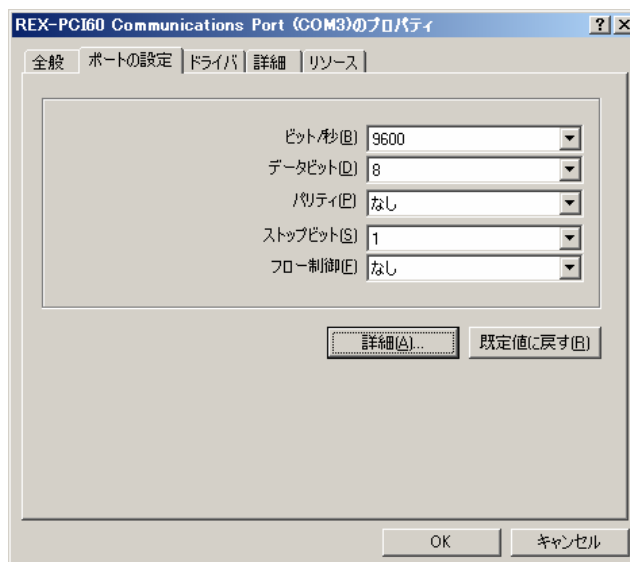
画面では、「COM3」「COM4」となっておりますが、ご使用の環境により COMx の x の数字が異なりますのでご注意ください。

(2-7) COM ポート番号の変更と設定について

本製品に割り当てられた COM ポート番号の変更はデバイスマネージャ上より行うことができます。

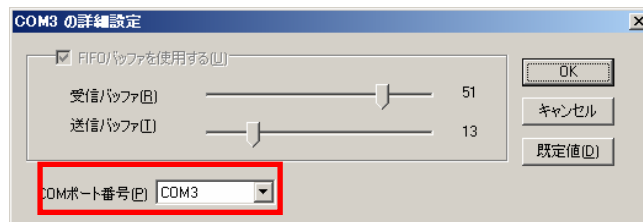
「(2-6)PCI ボード設定内容の確認」と同様にポートのプロパティ画面を開き「ポートの設定」タブをクリックします。

「詳細」ボタンをクリックするとポートの詳細設定ダイアログが出力されます。



【ポートのプロパティ画面】

COM ポート番号を変更するには「COM ポート番号」コンボボックスより変更先 COM 番号を選択後に「OK」ボタンをクリックしてください。



【ポートの詳細設定ダイアログ】

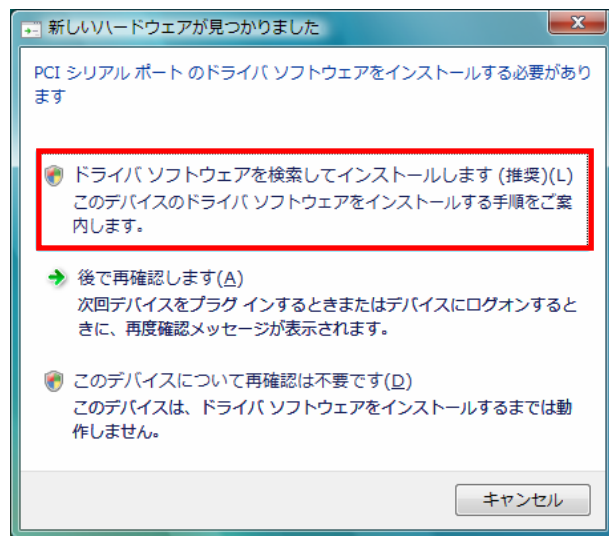
(2-8) Windows Vista / Vista x64 / Server2008 / Server2008 x64

セットアップ

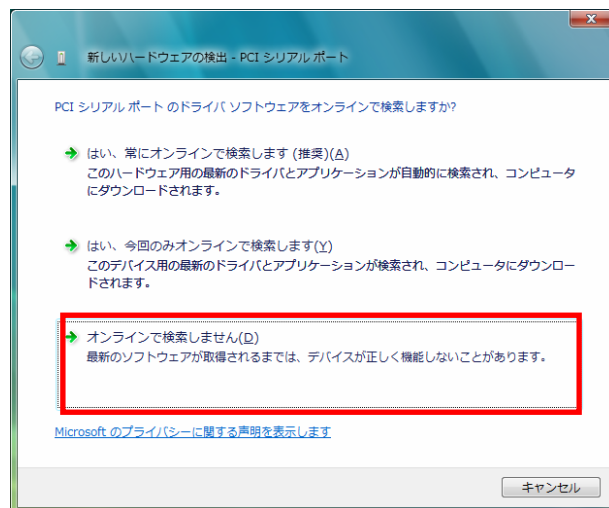
PC の電源を OFF にし REX-PCI60 を PC に装着します。PC の電源を ON にすると「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が起動しますので、以下の手順でインストールを行ってください。

<REX-PCI60 Dual Port Serial PCI Board のインストール>

「PCI シリアルポートのドライバソフトウェアをインストールする必要があります」と表示されていることを確認し、「ドライバソフトウェアを検索してインストールします(推奨)(L)」をクリックします。



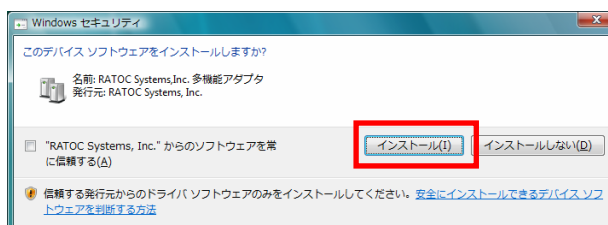
「PCI シリアルポートのドライバソフトウェアをオンラインで検索しますか?」で「オンラインで検索しません(D)」をクリックします。



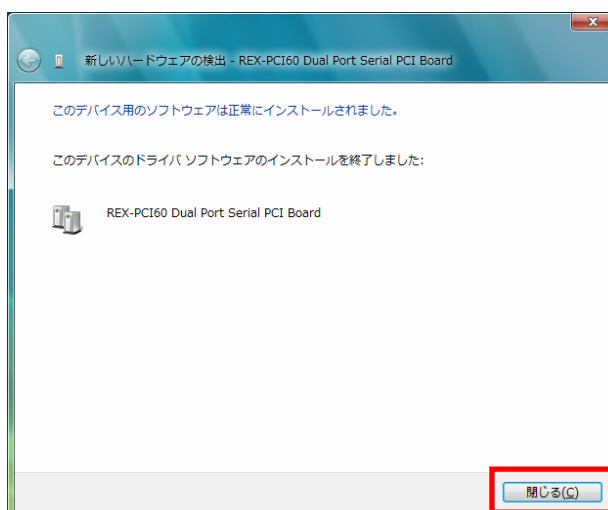
「PCI シリアルポートに付属のディスクを挿入してください」で添付 CD-ROM を挿入し、「次へ」ボタンをクリックします。



「このデバイスソフトウェアをインストールしますか？」で「インストール(I)」をクリックします。



以上で REX-PCI60 Dual Port Serial PCI Board のインストールは完了です。

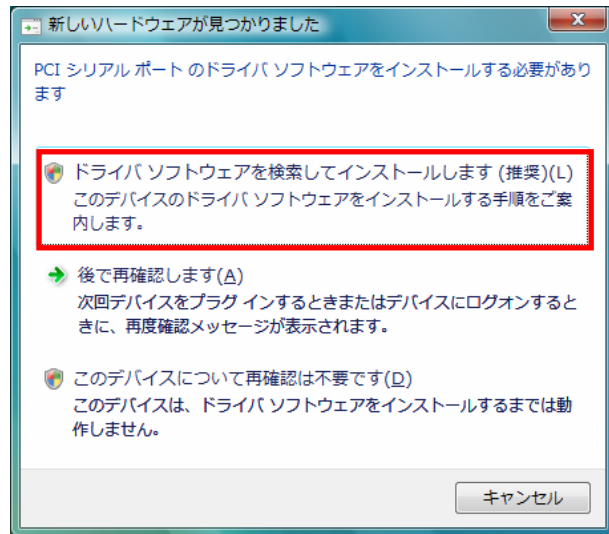


次に

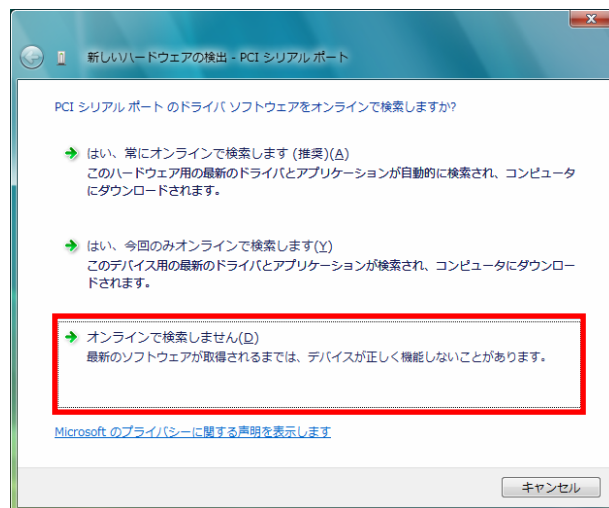
「REX-PCI60 Communications Port」のインストールウィザードが自動的に起動します。

<REX-PCI60 Communications Port のインストール>

「PCI シリアルポートのドライバソフトウェアをインストールする必要があります」と表示されていることを確認し、「ドライバソフトウェアを検索してインストールします(推奨)(L)」をクリックします。



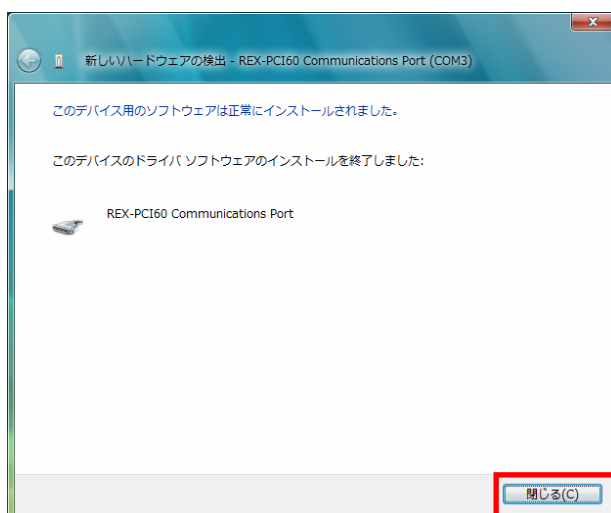
「PCI シリアルポートのドライバソフトウェアをオンラインで検索しますか?」で「オンラインで検索しません(D)」をクリックします。



「このデバイスソフトウェアをインストールしますか?」で「インストール(I)」をクリックします。



2 ポート分についてのインストールが自動的に行われます。

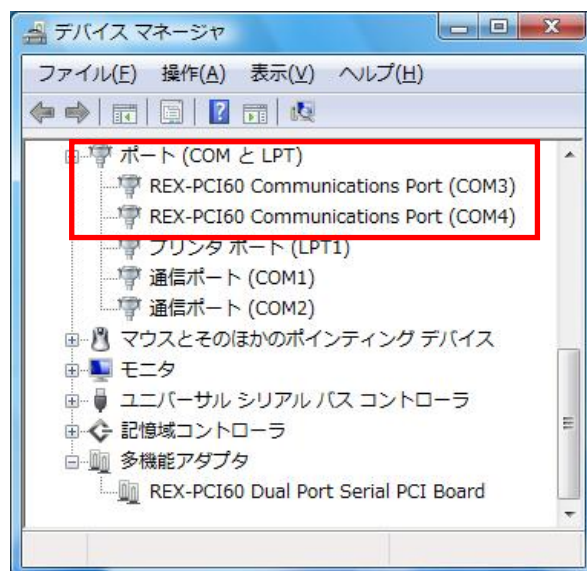


以上で
REX-PCI60 のインストールは完了です。

(2-9) PCI ボード設定内容の確認

コントロールパネルの「デバイスマネージャ」を起動します。

「ポート(COM と LPT)」をクリックして新しくポートが追加されているのを確認してください。



画面では「COM3」「COM4」となっておりますが、ご使用の環境により COMx の x の数字が異なりますのでご注意ください。

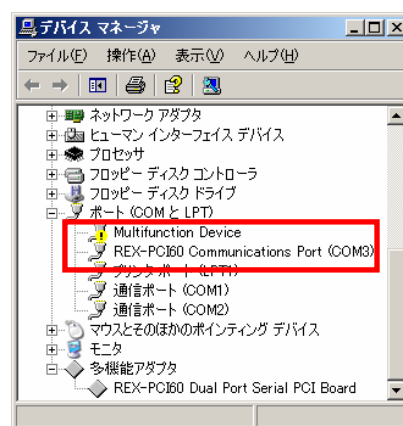
(2-10) ドライバの更新・削除方法

下記のような場合、インストールを行ったドライバを削除する必要があります。削除は、専用のアプリケーションを使用し、以下の手順に従って作業してください。

- ・ インストールに失敗した場合。
- ・ デバイスドライバのバージョンアップを行う場合。

弊社ホームページ

(<http://www.ratocsystems.com>)等から本製品の最新ドライバを入手した場合、一旦古いドライバを削除してください。その後、最新のドライバをインストールしてください。



REX-PCI60 のアンインストール

[Windows XP/2000/2000Server/Server2003] の場合

(CD-ROM)¥2kXpVistaSv¥x32 にある Uninstall.exe を実行します。

[Windows XP x64/Server2003 x64] の場合

(CD-ROM)¥2kXpVistaSv¥x64 にある Uninstall.exe を実行します。

[Windows Vista/Vista x64/Server2008/Server2008 x64]の場合

「(2-9) PCI ボード設定内容の確認」で確認した「REX-PCI60 Communication Port(COMxx)」を右クリックし「削除(U)」を選択してください。

「このデバイスのドライバソフトウェアを削除する」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックしてください。

(全てのポートについて削除を行います。以降のポートについてはチェックボックスが表示されませんので「OK」ボタンをクリックしてください。)

次に、デバイスマネージャの多機能アダプタに登録されている「REX-PCI60 Dual Port Serial PCI Board」についても同様に削除してください。

以上で REX-PCI60 のアンインストールは完了です。

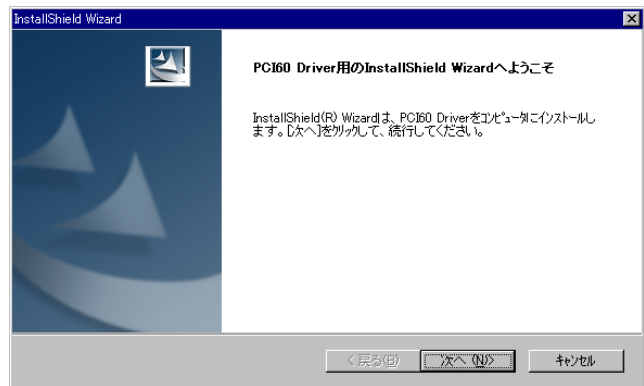
第3章 WindowsNT4.0 について

WindowsNT4.0 では、添付の CD-ROM からインストーラを起動する必要があります。システムのリソースの空き状況によっては REX-PCI60 を使用できないことがあります。

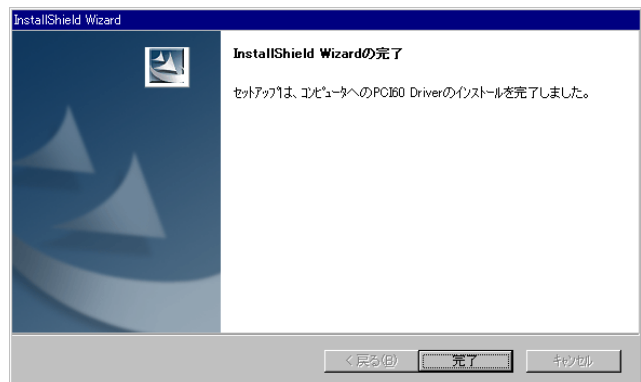
(3-1) WindowsNT4.0 セットアップ

WindowsNT4.0 でのインストール方法

添付の CD-ROM を挿入し、WinNT フォルダからインストーラを起動します。
「次へ」ボタンを押します。



「完了」ボタンを押します。PC を一旦、終了して、PCI スロットに PCI60 を挿入します。



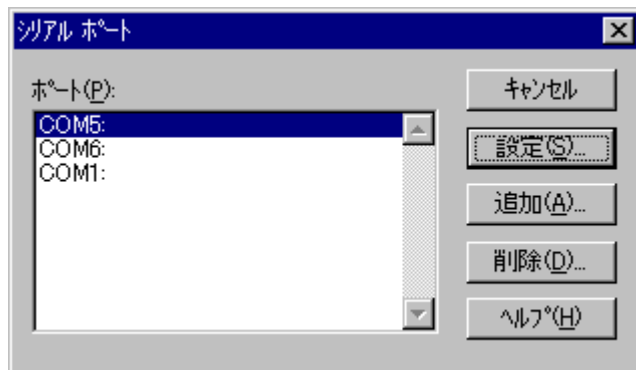
以上で REX-PCI60 のインストールは終了です。

「(3-2) PCI ボード設定内容の確認」へ進みインストールの確認を行ってください。

(3-2) PCI ボード設定内容の確認

「スタートメニュー」 「設定」 「コントロールパネル」→「シリアルポート」
に新しいポートが追加されているのを確認して下さい。

(但し、設定の変更はできません。)



第4章 通信サンプルアプリケーション

(4-1) 通信サンプルアプリケーションの構成について

製品添付の CD-ROM の[CommSample]フォルダ内の構成は次のようになります。

- VB6 フォルダ・・・VisualBasic6.0 サンプル
- VC6 フォルダ・・・VisualC++6.0 サンプル
- VB2005 フォルダ・・・VisualBasic2005 サンプル
- VC2005 フォルダ・・・VisualC++2005 サンプル

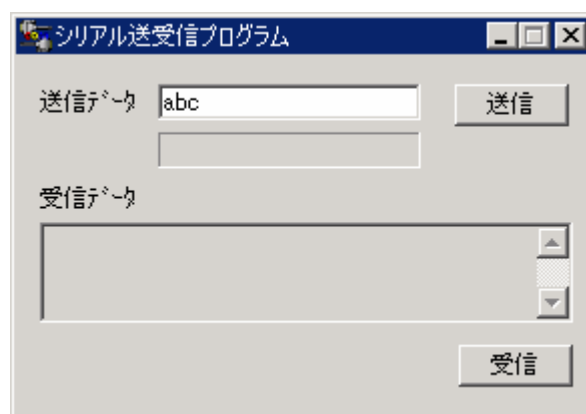
(4-2) 通信サンプルアプリケーションについて

通信サンプルアプリケーションは ASCII 文字列を送受信する簡易プログラムです。

使用するポートを選択します。



入力した ASCII 文字列の送信、および接続先から送信されたデータの受信を行います。



通信サンプルプログラム抜粋(VC)

(Visual Basic についてはサンプルソース内をご参照ください)

```
LRESULT CALLBACK WndProc(HWND hWnd, UINT uMessage, WPARAM wParam, LPARAM lParam)
{
    switch (uMessage)
    {
        case WM_CREATE:
            // COMポートオープン
            hComPort = CreateFile( lpszComName,
                                GENERIC_READ|GENERIC_WRITE,
                                0,
                                NULL,
                                OPEN_EXISTING,
                                FILE_FLAG_OVERLAPPED,
                                NULL);

            if ( hComPort == INVALID_HANDLE_VALUE ) {
                // ハンドルエラー
                ShowError("COM Open Error.");
                return FALSE;
            }
            // DCB 設定
            memset(&dcb, 0, sizeof(dcb));
            dcb.DCBlength = sizeof(dcb);
            dcb.BaudRate = 9600;
            dcb.fBinary = 1;
            dcb.fDtrControl = DTR_CONTROL_ENABLE;
            dcb.fOutxCtsFlow = 1;
            dcb.fRtsControl = DTR_CONTROL_HANDSHAKE;
            dcb.Parity = NOPARITY;
            dcb.StopBits = ONESTOPBIT;
            dcb.ByteSize = 8;
            // 新たに通信パラメータを設定する
            if ( !SetCommState( hComPort, &dcb ) )
                ShowError("Set COM parameter error.");

            break;

        case WM_COMMAND:
            switch (wParam)
            {
                case IDB_TXDATA:
                    // 送信データ取得
                    memset( TxBuf, 0x00, sizeof( TxBuf ) );
                    GetDlgItemText( hWnd, IDE_TXDATA, TxBuf, sizeof(TxBuf) );
                    SetDlgItemText( hWnd, IDS_TXDATA, TxBuf );
                    SetDlgItemText( hWnd, IDE_TXDATA, "" );
                    nToWrite = strlen(TxBuf);
                    // COMポートにデータ送信
                    iRet = WriteFile( hComPort, TxBuf, nToWrite, &dwBytesWrote, &ov);
                    if ( iRet == 0 ) {
                        WaitForSingleObject(ov.hEvent, 1000);
                    }
                    break;
            }
    }
}

/* 次ページに続く */
```

```
        case IDB_RXDATA:
            // 受信スレッドを作成します
            hThread = CreateThread( NULL,
                                   0,
                                   (LPTHREAD_START_ROUTINE) ReadThread,
                                   hWnd,
                                   0,
                                   &ThreadId );

            break;
    }
    break;
case WM_DESTROY:
    if (hThread != NULL) {
        CloseHandle( hThread );
        fReadThread = FALSE;
    }
    PostQuitMessage( 0 );
    break;
default:
    return DefWindowProc( hWnd, uMessage, wParam, lParam );
}return 0;
}

DWORD WINAPI ReadThread( LPVOID lpParameter )
{
    // バイト受信イベントを待つ受信データを取り出し格納
    while( fReadThread ) {
        // イベントを待つ
        WaitCommEvent( hComPort, &dwEvent, &ov );
        if ( WaitForSingleObject( ov.hEvent, INFINITE ) == WAIT_OBJECT_0 ) {
            do {
                memset( RxBuf, 0, sizeof( RxBuf ) );
                if ( !ReadFile( hComPort, RxBuf, sizeof( RxBuf ), &dwBytesRead, &ov ) ) {
                    if ( WinError = GetLastError() == ERROR_IO_PENDING ) {
                        if ( !GetOverlappedResult( hComPort, &ov, &dwBytesRead, TRUE ) ) {
                            ShowError( "GetOverlappedResult failed" );
                            break;
                        }
                    }
                }
            }
            else {
                if ( WinError != ERROR_INVALID_HANDLE ) {
                    ShowError( "ReadFile failed" );
                    break;
                }
            }
        }
        if ( dwBytesRead > 0 ) {
            // 受信データ表示
            RxBuf[ dwBytesRead ] = 0x00;
            SetDlgItemText( hWnd, IDS_RXDATA, RxBuf );
        }
    }while ( dwBytesRead > 0 && fReadThread != FALSE );
}return 0;
}
```

製品に対するお問い合わせ

REX-PCI60 の技術的なご質問やご相談の窓口を用意していますのでご利用ください。

ラトックシステム株式会社
I&L サポートセンター
〒556-0012
大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル
TEL. 06-6633-6741
FAX. 06-6633-8285
〈サポート受付時間〉
月曜～金曜（祝祭日は除く）AM 10:00 - PM 1:00
PM 2:00 - PM 5:00

また、インターネットのホームページでも受け付けています。

HomePage ⇨ <http://www.ratocsystems.com>



個人情報取り扱いについて

ご連絡いただいた氏名、住所、電話番号、メールアドレス、その他の個人情報は、お客様への回答など本件に関わる業務のみに利用し、他の目的では利用致しません。

🔔 ご注意 🔔

- ☑本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- ☑本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡願います。
- ☑本製品および本製品添付のマニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商品または登録商標です。
- ☑運用の結果につきましては、責任を負いかねますので、予めご了承ください。


REX-PCI60 質問用紙

●下記ユーザ情報をご記入願います。

法人登録 の方のみ	会社名・学校名			
	所属部署			
ご担当者 名				
E-Mail				
住所	〒			
TEL		FAX		
製品型番		シリアルNo.		
ご購入情 報	販売店名		ご購入日	

●下記運用環境情報とお問い合わせ内容をご記入願います。

【パソコン/マザーボードのメーカー名と機種名】
【ご利用のOS】
【接続機器】
【お問合せ内容】
【添付資料】

 個人情報取り扱いについて

ご連絡いただいた氏名、住所、電話番号、メールアドレス、その他の個人情報は、お客様への回答など本件に関わる業務のみに利用し、他の目的では利用致しません。

